

日本バレーボール学会 第 27 回 総会報告

2021 年度事業報告

1. 第 27 回大会の開催

▽期日:2022 年 3 月 5 日(土)~6 日(日)

▽場所:オンライン方式

▽テーマ:「東京 2020 大会のバレーボール競技を振り返って、そしてパリに向けて」

▽内容:

- ・特別講演 「東京 2020 オリンピックの振り返りとパリ 2024 オリンピックに向けて」
講師 矢島 久徳 (日本バレーボール協会
ハイパフォーマンス事業本部長)
- データ解説者 石丸 出穂 (日本バレーボール協会
情報戦略ユニット、仙台大学)
- データ解説者 新村 薫 (日本バレーボール協会
情報戦略ユニット、ミズノ株式会社)
- ・シンポジウム 「他種目のコーチングと比較し、バレーボールの発展を考える」
登壇者 矢島 久徳 (日本バレーボール協会
ハイパフォーマンス事業本部長)
中村 貴司 (日本バレーボール協会女子
強化委員長)
恩塚 亨 (女子バスケットボール代表監督、
東京医療保健大学)
市村 志郎 (日本ハンドボール学会理事長、
東京理科大学)
- ・一般研究発表 10 件 WEB での発表
- ・参加者数 115 名 (3/5 現在)

2. 2021 バレーボールミーティングの開催

▽期日:2021 年 8 月 14 日(土)19:00-20:30

▽場所:オンライン方式

▽テーマ:「アナリストからみたオリンピック出場国の戦術」

講師 宮脇 裕史 (KUROBE アクアフェアリーズ
コーチ兼アナリスト)

石丸 出穂 (仙台大学)

参加者数 307 名

3. 2021 第 1 回バレーボールセミナーの開催

▽期日:2022 年 1 月 29 日(土)19:00-20:30

▽場所:オンライン方式

▽テーマ:「バレーボールにおける映像サポートについて」

講師 三上 岳 (VOREAS 北海道アナリスト・
Volley Station JP)

鈴木 元気 (株式会社 SPLYZA)

沼田 薫樹 (鹿屋体育大学)

参加者数 249 名

4. 「バレーボール研究」の発刊および発刊準備、「ニュースレター」の発行

▽2021 年 7 月 10 日付 バレーボール研究 23 巻 1 号発刊
原著論文 2 編, 実践論文 4 編, 研究資料 2 編, 指導実践報告 2 編

▽2022 年 6 月 30 日付 バレーボール研究 24 巻 1 号の発刊準備中

▽2021 年 11 月 01 日付 ニュースレターNO.28(WEB 版)発行

5. バレーボールに関する研究事業

▽調査研究助成

- ・研究代表者: 後藤 浩史 (愛知産業大学)
- ・研究テーマ: 二酸化炭素濃度測定による大会環境における換気の効果・必要性に関する一考察
- ・研究助成金: 10 万円

▽バレーボール関係研究文献データベースの管理

- ・J-STAGE への「バレーボール研究」掲載論文等の登録・公開 (登録件数:147/154 件)
- ・JSVR 独自文献データベースへの文献登録と公開 (登録件数:368/3325 件)

6. 諸会議の開催

▽理事会

- ・第 1 回:2021 年 4 月 16 日 (金曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)
- ・第 2 回:2021 年 6 月 11 日 (金曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)
- ・第 3 回:2021 年 8 月 14 日 (土曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)
- ・第 4 回:2021 年 11 月 12 日 (土曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)
- ・第 5 回:2022 年 1 月 8 日 (土曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)
- ・第 6 回:2022 年 3 月 5 日 (土曜日) ハイブリッド (対面・オンライン)

▽総会

- ・第 27 回総会:2022 年 3 月 6 日 オンラインによる実施

7. その他諸事業の実施

▽公式サイト等の運用と整備(<http://www.jsvr.org>)

▽日本学会会議および日本スポーツ体育健康科学学術連合との連携

▽日本バレーボール協会との連携

▽NPO 法人スマイルクラブとの連携

2021年 決算報告

1. 収入の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
繰越金	782,735	782,735	2020年より繰越し
会費	1,900,000	1,578,820	@5,000×317名分(過年度を含む) 学生会員@3,000×3名分 (IC手数料 -15,180)
大会余剰金	0	719,437	第25回大会：341,720 第26回大会：158,892
広告費	100,000	0	機関紙広告費
雑収入	2,000	120,420	預金利息：420 スマイルクラブ協力金：120,000
その他	0	0	
2021小計	2,002,000	2,418,677	
合計	2,784,735	3,201,412	

2. 支出の部 (円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	400,000	0	
事務費	250,000	194,395	会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、web運営費・管理費(業者委託)、選挙管理費(業者委託)
通信費	100,000	35,025	郵送費、宅急便代等
大会補助費	600,000	600,000	ミーティング：200,000 第27回大会：400,000
印刷費	100,000	0	
機関紙発行費	600,000	759,000	バレーボール研究23巻1号：715,000 ニュースレター28号：44,000
委員会経費	330,000	184,640	総務40,000、渉外0、企画0、編集111,640、文献データベース作成事業33,000
調査研究費	300,000	100,000	調査研究補助：100,000
予備費	100,000	0	
2021小計	2,780,000	1,873,060	
次年繰越金	4,735	1,328,352	
合計	2,784,735	3,201,412	

以上御報告申し上げます。

2022年1月8日

日本バレーボール学会

総務委員会

委員長 湯澤 芳貴 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。

2022年1月8日

日本バレーボール学会

監事 古澤 久雄 印略

久保田もか 印略

2022年度 事業計画

1. 第28回大会の開催

2023年3月開催予定、開催地等検討中

2. バレーボールミーティングの開催

2022年8月開催予定、開催検討中

3. バレーボールセミナー（オンライン）の開催

複数回実施予定

4. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の発行準備

▽バレーボール研究24巻の発刊と25巻発刊準備

▽ニュースレターNo. 29 (WEB版)の発行

5. バレーボールに関する研究事業

▽調査研究費助成(総額30万円)

・なし

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

・J-STAGEへの「バレーボール研究」掲載論文の登録・公開

・JSVR独自文献データベースへの文献登録と公開

6. JSVR設立27・30周年記念事業の準備・実施

7. 会員情報の管理

8. 公式サイトのリニューアルおよび管理

9. 国際交流事業の推進

10. 諸会議の開催

▽理事会

▽総会

11. その他事業の実施

▽日本学術会議および日本スポーツ体育健康科学学術連合との連携

▽日本バレーボール協会との連携

▽NPO法人スマイルクラブとの連携

2022年 収支予算

1. 収入の部 (円)

項目	金額		摘要
	前年予算	今年予算	
繰越金	782,735	1,328,352	2021年より繰り越し
会費	1,900,000	1,800,000	@5,000×360名分(概数)
大会余剰金	0	0	
広告費	100,000	100,000	機関誌広告費
雑収入	2,000	2,000	預金利息・機関誌頒布
2022小計	2,002,000	1,902,000	
合計	2,784,735	3,230,352	

2. 支出の部 (円)

項目	金額		摘要
	前年予算	今年予算	
会議費	400,000	500,000	諸会議経費、理事会・主要役員会 交通費補助
事務費	250,000	370,000	会費銀行振替関連経費、振込手 数料、事務用品、web運営費・管 理費(業者委託)
通信費	100,000	100,000	郵送料、宅急便代等
大会補助費	600,000	660,000	大会、バレーボールミーティング等 の開催経費(大会400,000・ミーテ ィング200,000・セミナー60,000)
印刷費	100,000	100,000	学会封筒・資料等の印刷費
機関誌発行費	600,000	700,000	「バレーボール研究24巻1号」 発刊・ニュースレター発行
委員会経費	330,000	400,000	総務10,000、企画50,000、編集250,000 渉外10,000、広報10,000、研究推進 20,000、文献データベース作成事業 50,000
調査研究費	300,000	300,000	調査研究補助費、プロジェクト 研究補助費
予備費	100,000	100,000	香典・弔電等慶弔費、国際会議 準備費等
2022小計	2,780,000	3,230,000	
次年繰越金	4,735	352	
合計	2,784,735	3,230,352	

事務局だより

学会HP「ライブラリ」のコーナーでは、会員によつて出版されたバレーボール関係の書籍やDVDなどを紹介しております。ご覧頂くと共に、書籍やDVDなどの情報がございましたら、事務局までお届けください。理事会に諮り、出版社と打ち合わせをし、可能な限り掲載したく思います。

昨年度より会員の皆様宛にメールでのご連絡・ご案内を開始致しました。今後もメールでのご連絡・ご案内をしたく思いますので、メール未達の方におかれましては、メールアドレスの登録および変更申請をお願い致します。住所変更・所属変更があった場合は、学会HP「登録情報変更フォーム」より送信して下さい(パソコンの場合、トップページ上部の「各種手続き」→「登録変更フォーム」→「変更する項目」を選択後、必要事項を入力)。ご本人からの申告がないと住所録が変更できないので、発刊物などの発送が出来ません(発送には「ヤマトメール便」を使用しているため、転送されません)。ご協力のほどお願いします。また、機関誌が届いていない場合は、事務局までご連絡頂ければ幸いです。

「バレーボール研究」投稿規定

本誌は日本バレーボール学会の機関誌として発刊し、バレーボールに関する研究業績の発表と会員相互の情報交換を促進することを目的とする。

1. 投稿資格

投稿は原則として日本バレーボール学会会員に限る。ただし、編集委員会が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼することができる。詳細は投稿の手引きに定める。

2. 投稿内容および種類

投稿内容はバレーボールについての理論と実践に関するものとする。投稿内容に応じて総説、原著論文、実践論文、研究資料、指導実践報告、内外の研究動向、その他とする。完結した未発表のものとし、他誌に投稿中でないものに限る。

3. 掲載の採否、順序等

原稿の採否および掲載順序などその取り扱いについては、編集委員会が委嘱した複数の審査員の審査結果に基づいて、同委員会が最終決定する。なお、機関誌の発刊は原則年1回とする。

4. 原稿一般規定

原稿は以下の通りに作成すること。詳細は投稿の手引きを参照すること。

1) ファイル形式

本文はMS-Word、図表はMS-ExcelかMS-PowerPointで作成したファイルとし、画像データは「.jpg」形式のみ取り扱う。

2) 用紙設定

縦A4判、横書き、1ページ40字30行、上下左右の余白は2.5cm以上とする。原稿の下中央部にページ番号、左余白に行番号（ページごとに振り直し）を記入する。

3) 文体

ひらがな現代かなづかいとする。外国語をかな書きする場合は、カタカナにする。英文綴りおよび数値は半角とする。

4) 明記事項

原稿には、和文および英文で標題、著者名、所属機関名ならびに投稿原稿の種類（総説、原著論文…など）、連絡先を明記した表紙を添付する。また、表題が和文45字、英文90字を超える場合はランニングタイトル（和文30字以内、英文60字以内）をつけること。

5) 英文の抄録等

総説、原著論文、実践論文ならびに研究資料の原稿には、必ず別紙として、英文による300語以内の抄録、ならびに抄録和訳を添える。また、5語以内のキーワードを明記する。

6) 原稿の分量

総説、原著論文、実践論文、研究資料の原稿は、原則として1編につき、図表、抄録等を含み刷り上がり8ページ以内、指導実践報告、内外の研究動向、その他等の場合は刷り上がり4ページ以内とする。このページ数を大幅に超過した場合、あるいは特別な印刷を要した場合は、その実費を投稿者が負担する。

7) 図表

図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルを付け、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文中もしくは欄外に、赤インクでそれぞれの番号によって指示する。

8) 引用・参考文献

引用・参考文献は、原則として著者・出版年方式（author-datamethod）とし、文献リストは本文の最後に著者名のABC順に一括して記載する。文献の記載方法については投稿の手引きを参照すること。

5. 倫理

人を対象とした実験・調査を含む場合、対象者の保護には十分に配慮するとともに、説明と同意などの実際に実施した倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

6. 返却

掲載された論文の原稿は、原則として返却しない。

7. 校正

校正は、原則として著者校正1回とし、その後の訂正は、誤植、印刷上のミス訂正にとどめる。

8. 掲載論文の別刷り

掲載論文の別刷りを希望する投稿者は、その必要部数を編集委員会に連絡する。ただし、この場合の実費は、全額投稿者の負担とする。

9. 著作権

本誌に記載された論文の著作権は日本バレーボール学会に帰属するものとする。

10. 原稿投稿方法・送付先・受付期間

投稿論文は正本原稿と審査用原稿の2種類を下記指定の送付先にオンライン（電子ファイル）で提出する。なお、審査用原稿は著者名、所属機関名、謝辞、付記を削除しておく。

投稿は年間を通して随時受け付ける。

オンライン投稿先

hirobumi@u-gakugei.ac.jp

「日本バレーボール学会」編集委員会
委員長：高橋 宏文

改定履歴

1998年3月28日制定
1999年3月21日改正
2001年3月21日改正
2003年3月23日改正
2007年3月04日改正
2008年3月22日改正
2015年3月08日改正
2021年3月21日改正
2021年11月12日改正

「バレーボール研究」投稿の手引き

1. 投稿資格

- 1) 会員または入会手続きを済ませた入会予定者は、全ての論文種別に対して投稿資格を有する。
- 2) 会員については、所定の年度会費手続きを行っている者、もしくは会費納入済みの者が投稿できる。新入会員については、会費納入済みの者が投稿できる。
- 3) 編集委員会が依頼した場合には、非会員でも投稿することができる。

2. 投稿の種類

投稿の種類は、総説、原著論文、実践論文、研究資料、指導実践報告、内外の研究動向、その他のいずれかであり、それぞれの特徴は以下の通りである。

総説	今日の課題や将来の展望など内外諸研究を広く検討し、独自の観点から総合的に概観した論文。
原著論文	オリジナルな実証的または理論的な研究論文。本誌、他学会誌、および他学術誌に未投稿の研究論文。
実践論文	バレーボールに関する諸活動の実践を通して得られた情報に基づく実用的価値の高い論文。
研究資料	内外の諸研究の追試的検討、新しい装置や方法、ならびに試験的な実証的または理論的な研究。
指導実践報告	現場指導の問題点、選手育成の成功例・失敗例。また練習の実践例報告など。
内外の研究動向	文献紹介など。
その他	バレーボールに関する全般的な情報。

3. 原稿の分量

総説、原著論文、実践論文、研究資料の原稿は、原則として 1 編につき、図表、抄録等を含み刷り上がり 8 ページ以内、指導実践報告、内外の研究動向、その他等の場合は刷り上がり 4 ページ以内とする。なお、1 ページに掲載できる文字数は最大 2,000 文字程度（図表は刷り上がり 1/4 ページ程度の大きさであれば 500 文字換算）である。

このページ数を大幅に超過した場合、あるいは特別な印刷を要した場合は、その実費を投稿者が負担する。

4. 投稿原稿の構成

1) 用紙

原稿は、MS-Word で作成し、縦 A4 判、横書き、1 ページ 40 字 30 行、上下左右の余白は 2.5cm 以上とする。原稿の下中央部にページ番号、左余白に行番号（ページごとに振り直し）を記入する。

2) 表紙

原稿の表紙（1 枚目）には下記の事項を記入する。①～③については和文および英文を記入する。審査用原稿には①のみを記入する

- ① 標題：和文 45 文字、英文 90 字を超える場合は、ランニングタイトルを和文 30 文字、英文 60 文字以内でつ

けること

② 著者名

③ 所属機関

④ 投稿原稿の種類

⑤ 連絡先：電話番号、電子メールアドレス、住所など

3) 英文抄録

総説、原著論文、実践論文ならびに研究資料の原稿には、必ず別紙として、英文による 300 語以内の抄録、ならびに抄録和訳を添える。

4) キーワード

原稿の内容や特色を的確に示す 5 語以内のキーワード（和文および英文）を明記する。抄録の末に記載する。

5) 本文

文体：ひらがな現代かなづかいとする。外国語をかな書きする場合は、カタカナにする。英文綴りおよび数値は半角とする。句読点：句点（終止符）はピリオド（.）、読点（語句の切れ目）はコンマ（,）を用いる。数字：原則として、アラビア数字を用いる。単位：原則として、国際単位系（SI 単位系）とする。略語：省略した語を用いる場合は、初出時に略さずに明記し、（以下「…」と略す）と添え書きしてから、以後その略語を用いるようにする。

6) 図表

図表は MS-Excel か MS-PowerPoint で作成する。図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルを付け、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文中もしくは欄外に、赤インクでそれぞれの番号によって指示する。画像データは「.jpg」形式のみ取り扱う。

7) 謝辞・付記

謝辞や付記は本文とは別け、それぞれ「謝辞」「付記」の見出し語を用いて記述する。なお、審査用原稿では謝辞および付記等は削除しておくこと。

5. 引用・参考文献

文献を引用する際には、適当な文献を厳選して正確に引用してください。本文中の文献の記載は、原則として、著者・出版年方式（author-datemethod）で示す。なお、引用した文献はすべて文献リストに掲載する。

1) 引用の仕方

① 文献の一部を直接引用するときは、引用した語句または文章を、和文の場合「」、英文の場合“ ”で括る。

< 記入例 >

「ディグ」（日本バレーボール学会、2010）とは…。

“offtheballmovements”（松井、2011）の評価項目は…。

② 著者が 2 名の場合、和文ならば中黒丸（・）、英文ならば“and”を用いてつなぐ。著者が 3 名以上の場合には、筆頭筆者の姓の後に、和文の場合には「他」、英文の場合には“etal.”を用いてつなぐ。

< 記入例 >

「…」（矢島・松井、1991）という結論は…。“…”

（JohnsonandSelinger, 1998）という結論は…。「…」という報告（黒川他、2003）。“…”という報告（Selingeretal.,1995）。

③ 複数の文献を引用する場合は、セミコロン（;）でつなぐ

<記入例>

「…」(矢島, 1995; 黒川, 1997) という主張.

- ④本文中で参照した文献を記述する場合は著者名と発行年
を記入する. また, 同一著者の文献が複数ある場合は括
弧内の発行年をコンマ (,) でつなぐ. なお, 同一著者の
同一年に発行された複数の論文は発行年の後に a, b, c,
…をつけて区別する.

<記入例>

Johnson (1999) によれば… 松井他 (2005, 2006a, 2006b)
による一連の研究では…

- ⑤翻訳書の著者を表記する場合, カタカナ表記とする.

<記入例>

セリンジャー (1990) によれば…

2) 文献リストの作成

文献の記載は原則として, 本文の最後に, 筆頭著者の
ABC (アルファベット) 順, 同一著者の場合は発表年順と
し, 書式は下記の事項を確認し記載する. なお, 文献リス
トの見出し語は「引用・参考文献」とする.

①雑誌

著者名 (発行年) 題目. 雑誌名, 巻 (号), ページ (p.
複数ページの場合 pp.). の順に記す.

共著の場合, 和文の場合には中黒 (・), 英文の場合に
は “and” でつなぐ. 著者が 3 名以上の場合, 筆頭筆者
の姓の後に, 和文の場合には「他」, 英文の場合には “etal.”
を用いて略す. 同一著者の同一年に発行された複数の論
文は発行年の後に “a, b, c, …” をつける.

誌名は, 原則として, 正式名称を記述する. 省略する
場合は, その雑誌に指定された略記法, または広く慣用
的に用いられている略記法に従う.

<記入例>

小林海 他 (2013) ブロッカーのポジショニングがコン
ビネーション攻撃のディフェンスに及ぼす効果. バレー
ボール研究, 15(1), pp.1-7.

Toselli, S and Campa (2018) Anthropometry and functional
movement patterns in elite male volleyball players of different
competitive levels. J Strength Cond Res, 32(9), pp.2601-
2611.

島津大宣 (2014a) バレーボールの試合におけるスターテ
ィングラインアップの 2-LS 択一方式に関する一考察. バ
レーボール研究, 16(1), pp.30-35.

島津大宣 (2014b) Bradley-Terry モデルを用いたバレー
ボールの試合のラインアップ分析論に関する研究. バレ
ーボール研究, 16(1), pp.36-49.

②単行本

著者名 (発行年) 書名. 版数 (ただし, 初版は省略),
発行所, ページ. の順に記す. 編集書や監修書, 翻訳書
の場合は, 著者名と判別できるように <編>, <監>,
<訳> とカッコ付きで表記する.

<記入例>

矢島忠明・遠藤俊郎 (1994) ボールゲームバレーボール.
西村書店, pp.10-15. 日本バレーボール学会 <編> (2010)
Volleypedia バレーベディア. 日本文化出版, p.64.

③WEB

著者名 (発行年) WEB ページの題目. WEB サイトの名
称, URL, (参照日). をできる限り詳細に記す.

<記入例>

日本バレーボール学会 (2018) ニュースレター.
ニュースレター第 25 号(WEB 版),

<http://jsvr.org/journal/newsLetter/entry-14891.html>, (参
照日 2021 年 6 月 1 日)

国立研究開発法人科学技術振興機構 科学技術情報流通
技術基準. 目的別メニュー: 文献を引用したい,
https://jipsti.jst.go.jp/sist/menu_purpose/index.html, (参
照日 2021 年 7 月 1 日).